

# 九州大学ステークホルダー調査について

<https://ueii.kyushu-u.ac.jp/pages/stakeholder.php>



九州大学  
KYUSHU UNIVERSITY

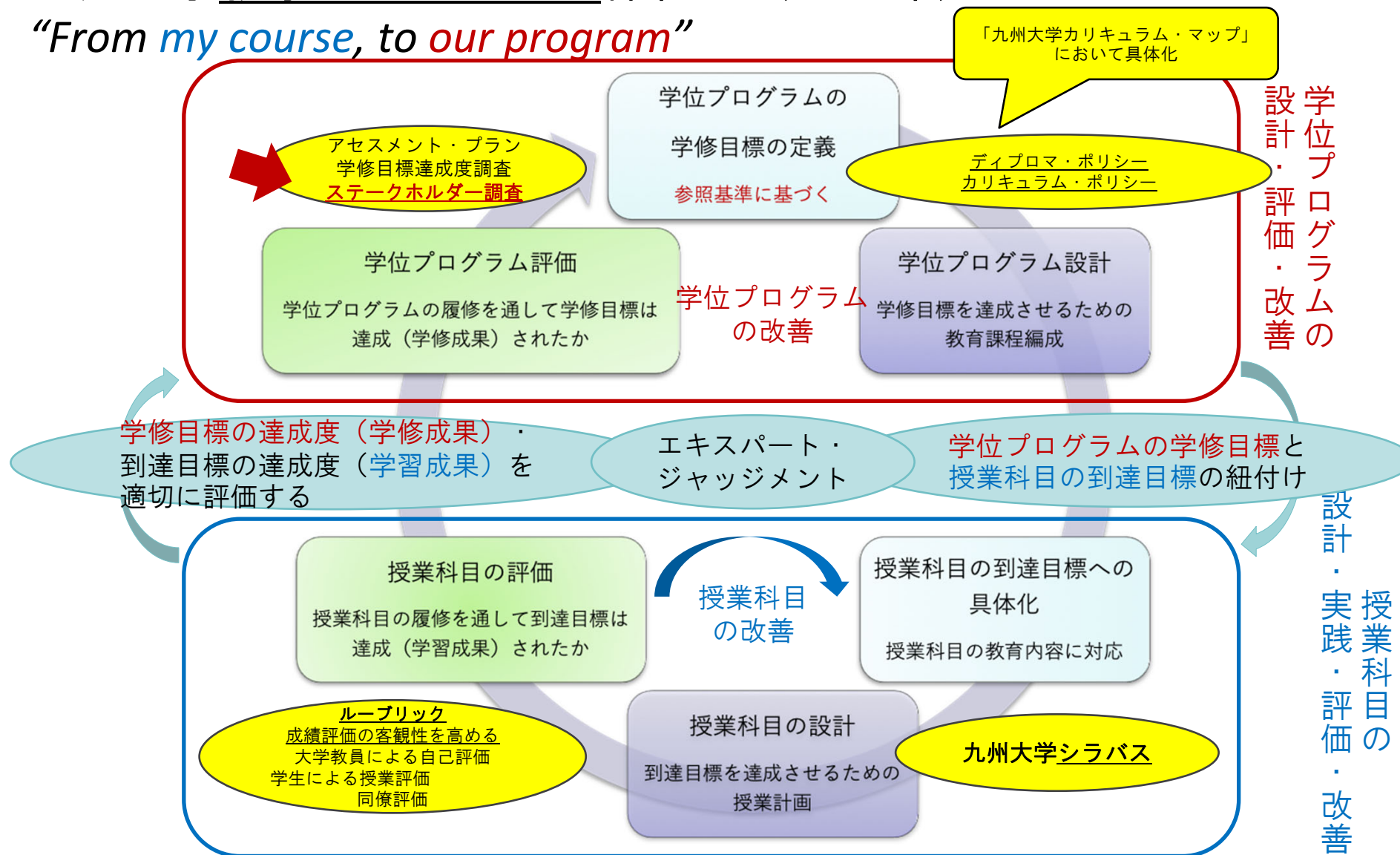


UEII

九州大学教育改革推進本部  
Kyushu University Education Innovation Initiative

# 九州大学教学マネジメント枠組み（2018年）

“From *my course*, to *our program*”



## 第4期中期目標・中期計画期間の課題： 九州大学ステークホルダー調査

SHは、九州大学での学び・学生生活についてどう感じているのか。  
とくに、学修目標・カリキュラムの意図は伝わっているか。学びの成果を俯瞰的に理解できているか。

学生による評価を教育改善に活かしていくためには、学生の評価者としての心構え・力量を涵養する仕掛けも必要。



### 《本学学生による、本学での学び・学生生活に対する総合的評価》5時点

- ①卒業・修了生調査：卒業・修了時点
- ②在学生調査：2年終了時・4年終了時
- ③卒後調査：卒後3年目・卒後10年年目

共通の質問項目を使うことで、  
経年変化を確認できるように設計

### 《企業による、本学の人材育成に対する期待・総合的評価》

- ④企業調査：合同企業説明会への参加企業

- 4種類のSH調査について、分析結果の報告書、NLの作成・全SH (同窓会を含む) への送付をルーチン化していくことによって、大学とステークホルダーとの対話を深める。
  - 課題 (回収率 (特に在学生) の低さ) の克服につなげる
- 学生目線の対話を重視するために、ステークホルダー調査・学生班 (教育改革推進本部長の委嘱) を設置 (R4) し、分析結果報告書・NL作成を担当。

# 令和3年度卒業・修了生調査 分析結果報告書の概要



九州大学  
KYUSHU UNIVERSITY



UEII

九州大学教育改革推進本部  
Kyushu University Education Innovation Initiative

## 調査の概要

- 令和3年度（9月・3月）学部・学府卒業・修了生全員を対象に、卒業式への出席有無のアンケートに添えて、Web調査（Moodle）の実施を依頼。

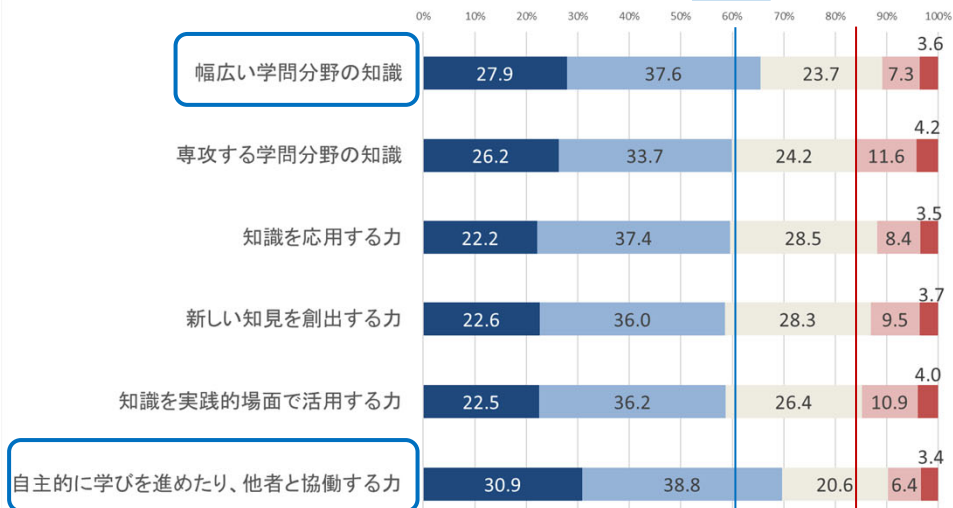
年度（月）	課程	回答者（人）	母集団（人）	回答率（%）	備考
令和2年（3月）	学部	1,449	2562	56.6%	
	大学院	707	2214	31.9%	
令和3年（9月）	学士	22	72	30.6%	
	修士	13	147	8.8%	
	博士	31	194	16.0%	
令和3年（3月）	学士	1465	2577	56.8%	共創学部第1期生
	修士	635	1919	33.1%	専門職課程を含む
	博士	83	377	22.0%	
令和3年（全体）	学士	1487	2649	56.1%	
	修士	648	2066	31.4%	
	博士	114	571	20.0%	

- 質問紙（日英）は、6肢択一式問題6問（46項目）と自由記述式問題2問。回答に要する時間は約5分程度。
  - 学修成果、満足度、印象に残った経験、要望・提案。

# 学修成果（学部学生） R2の回答傾向と概ね変化なし

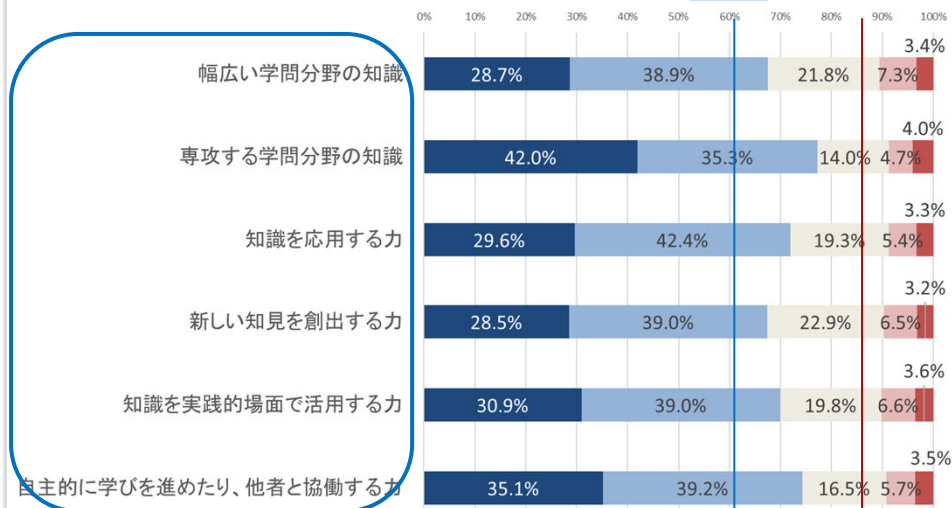
基幹教育(学部)(%)

60% 15%

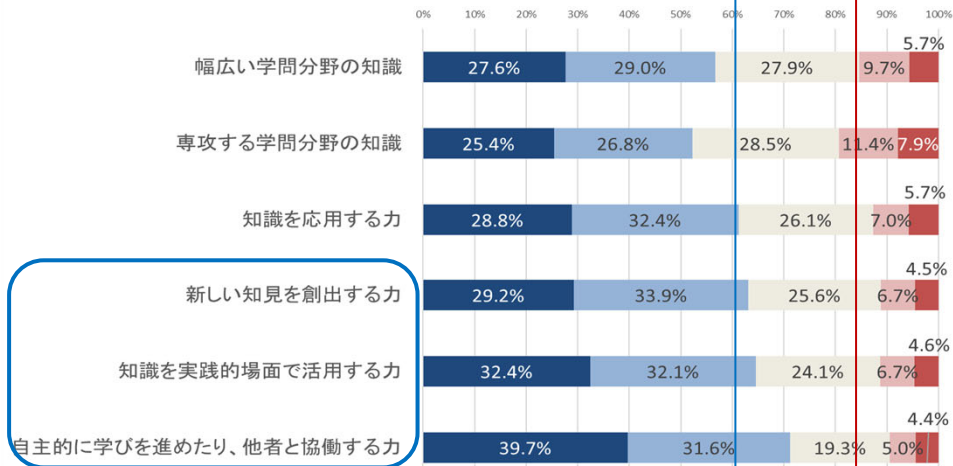


専攻教育(学部)

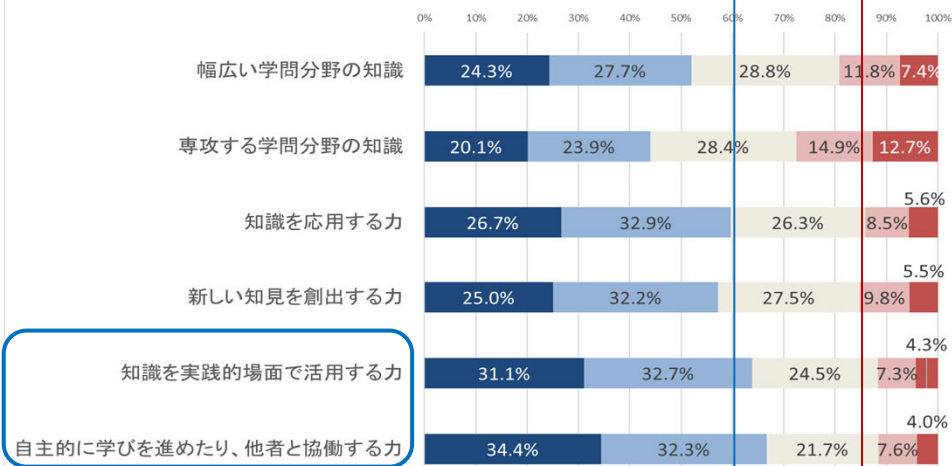
60% 15%



課外活動(学部)



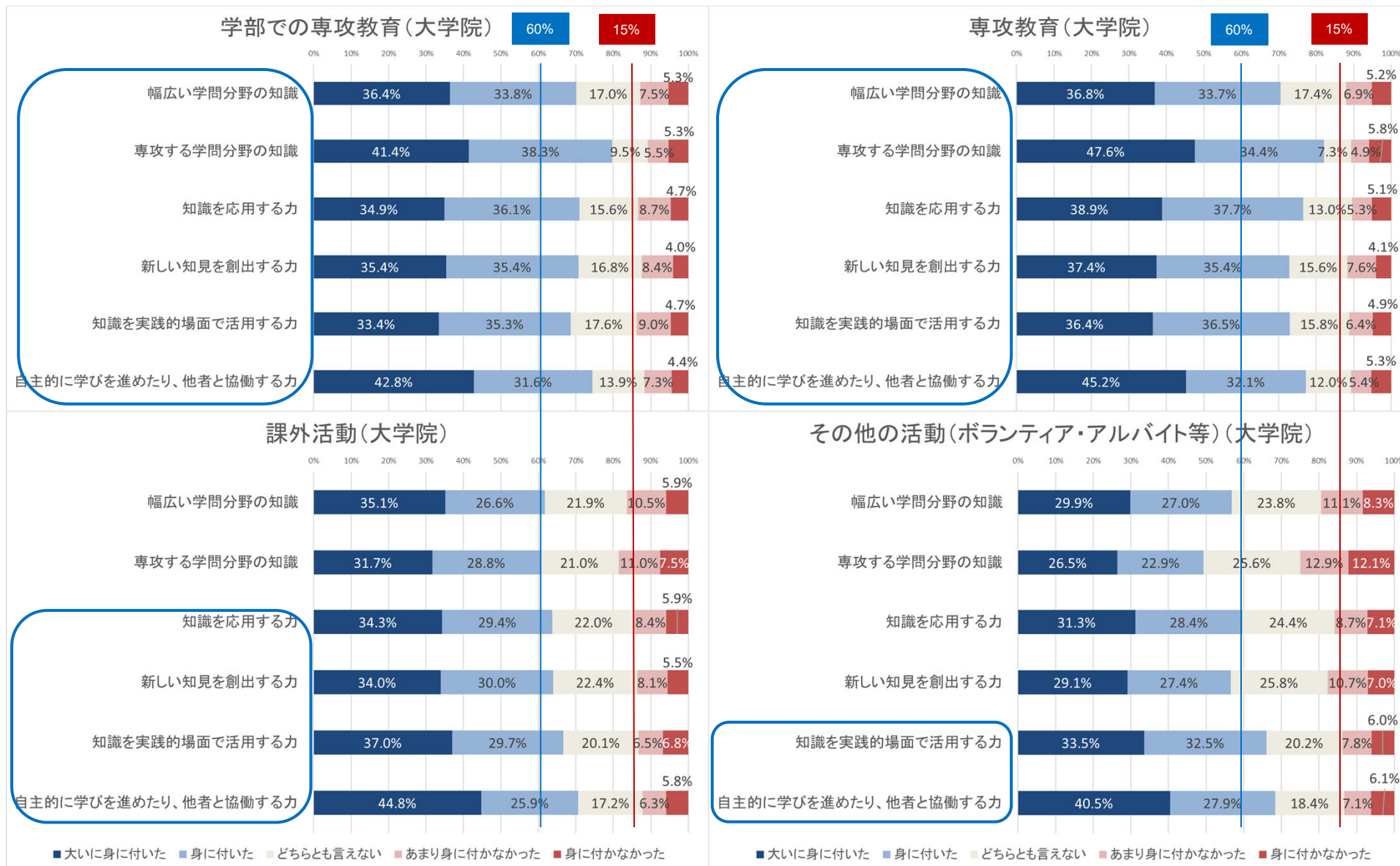
その他の活動(ボランティア・アルバイト等)(学部)



■ 大いに身に付いた ■ 身に付いた ■ どちらとも言えない ■ あまり身に付かなかった ■ 身に付かなかった

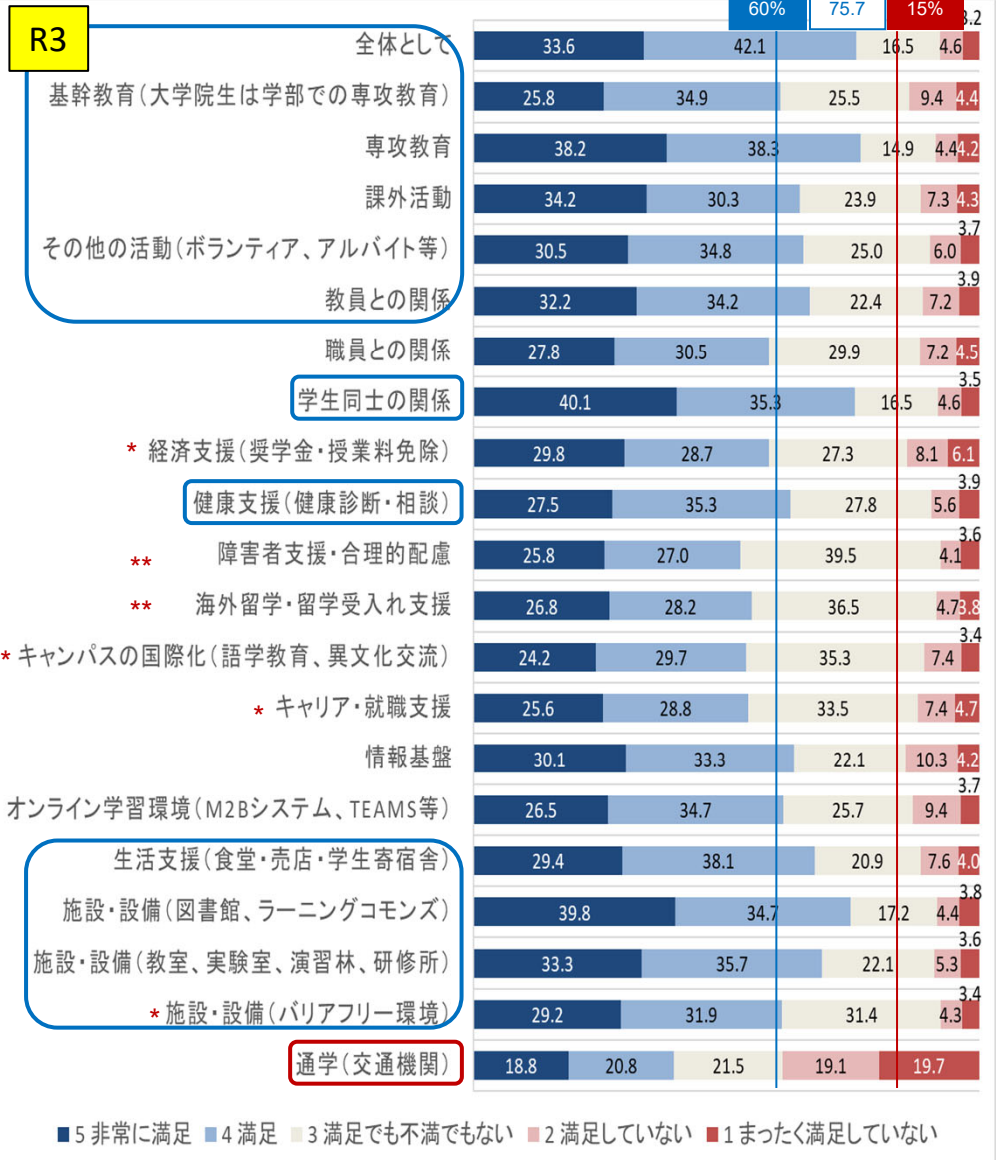
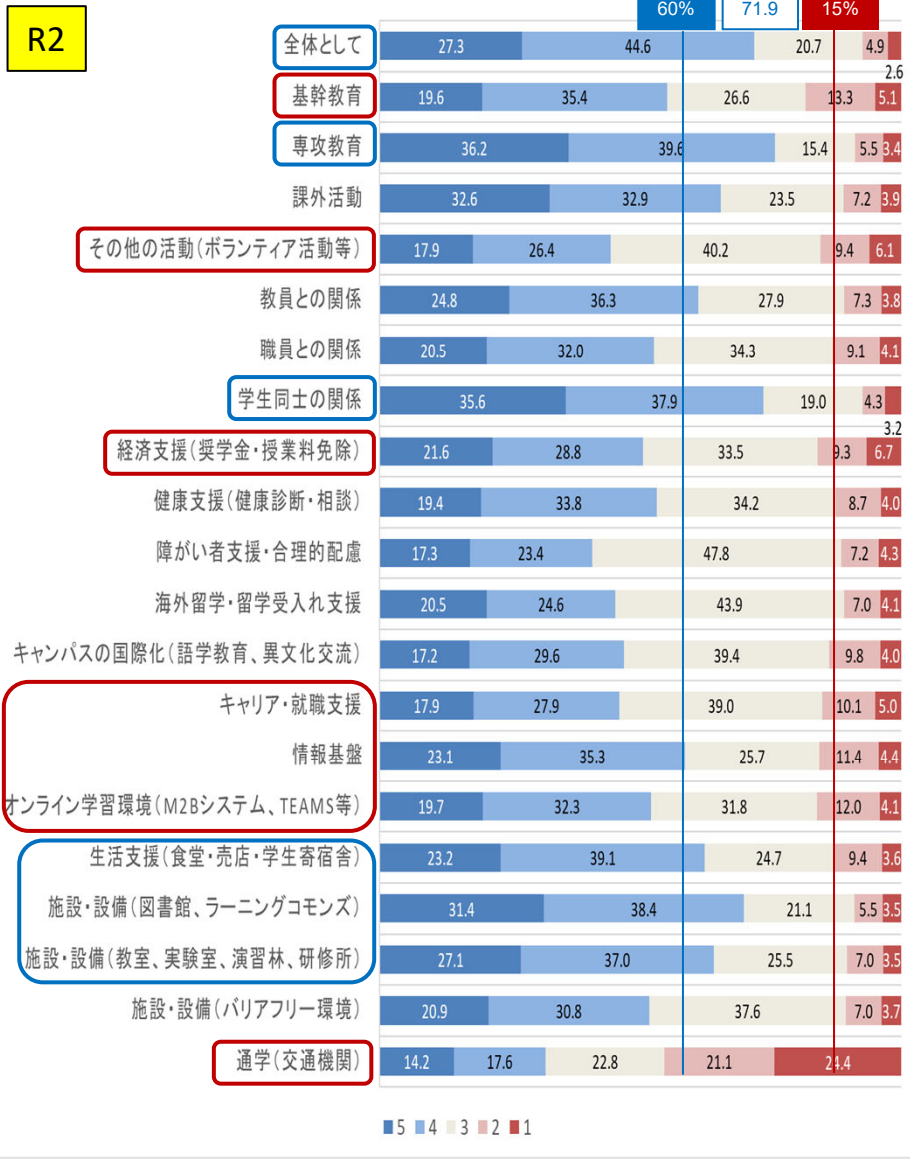
■ 大いに身に付いた ■ 身に付いた ■ どちらとも言えない ■ あまり身に付かなかった ■ 身に付かなかった

# 学修成果（大学院生） R2の回答傾向と概ね変化なし



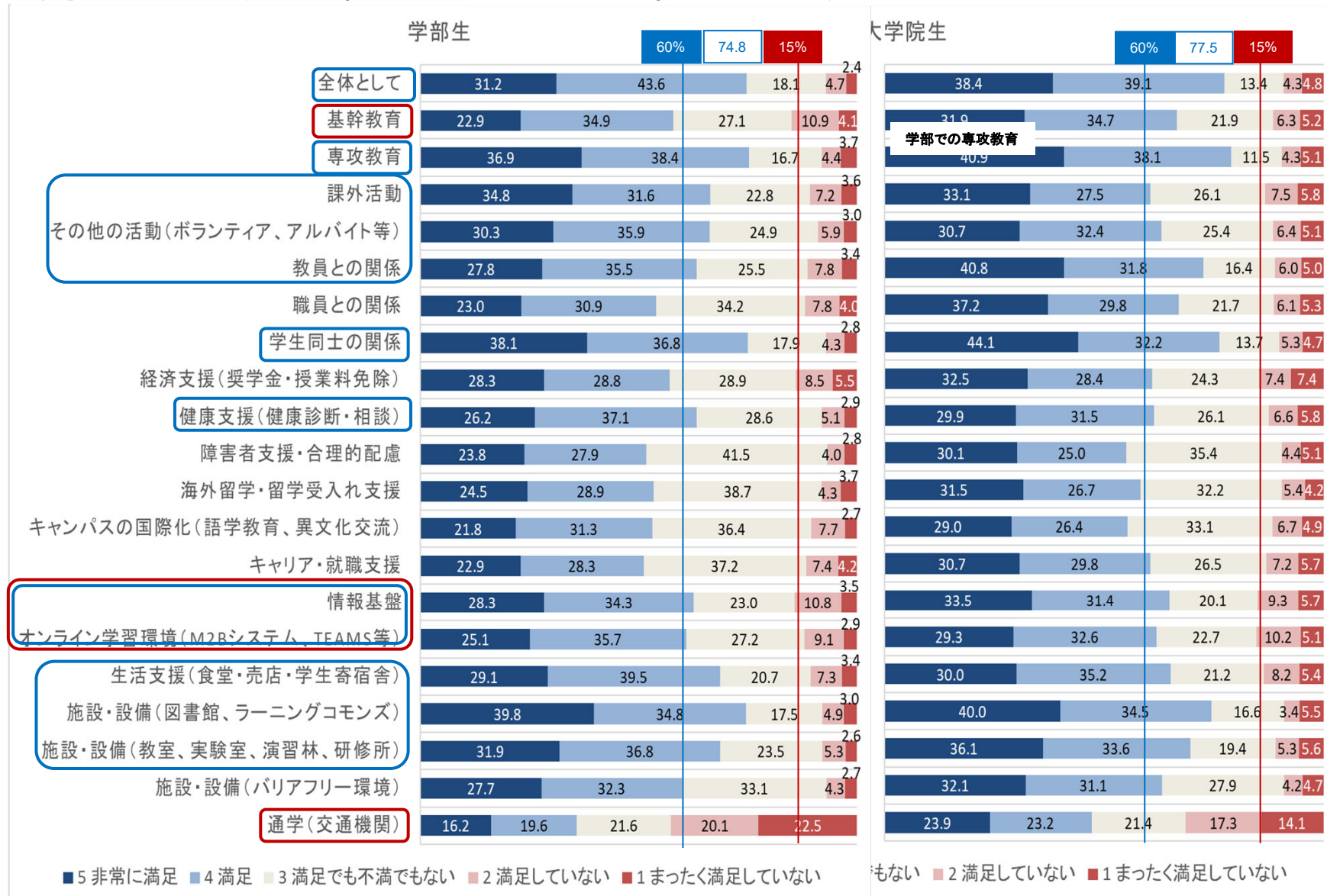
選択肢N/A（わからない・非該当）を追加したことによって、  
「3. 満足でも不満でもない」が減少  
欠損値:\*10%~19.9%, \*\*20%~

# 満足度（学部学生・大学院生別） R2と比べて肯定的な回答が多い傾向



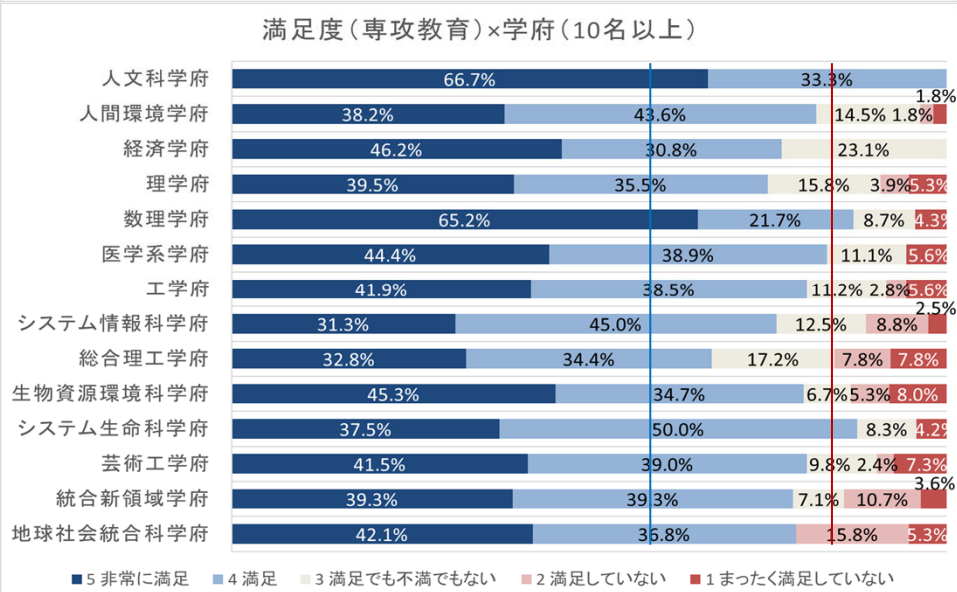
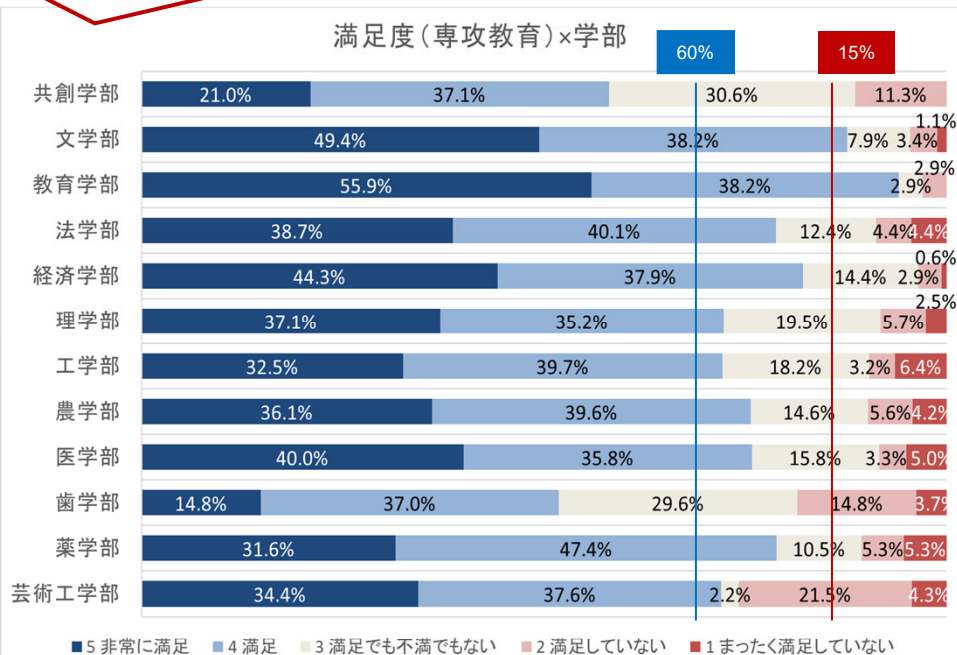
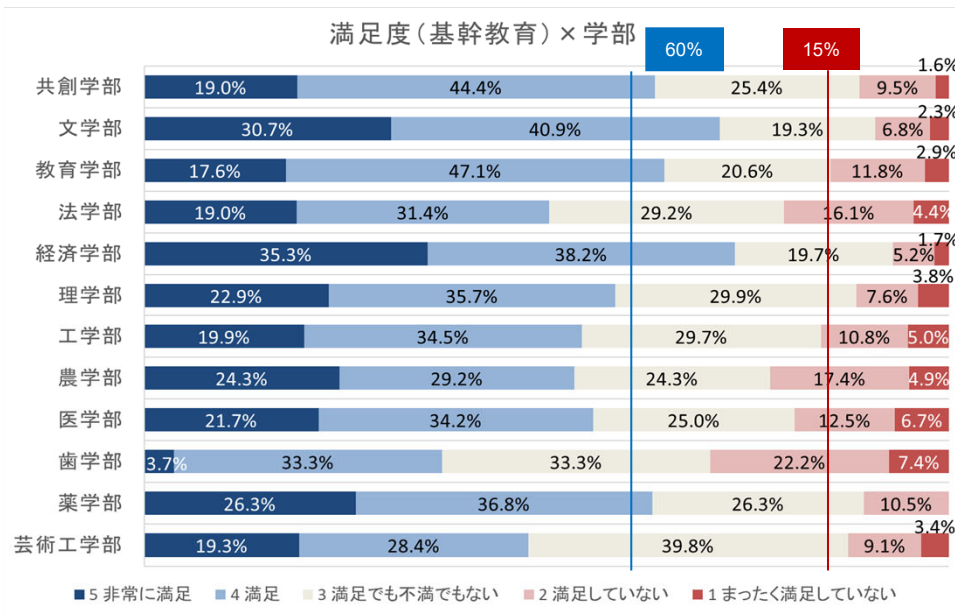


# 満足度（学部学生・大学院生別）



報告書には、各項目について、学部・学府別の集計結果を提示していますので、各部局においてご確認のうえ、教育改善にお役立てください。

# 基幹教育・専攻教育への満足度（部局別）



# 令和4年度調査の改善点



九州大学  
KYUSHU UNIVERSITY



UEII

九州大学教育改革推進本部  
Kyushu University Education Innovation Initiative

## 令和4年度調査質問紙の主な改訂（9月調査反映済み）

### 【項目の追加】

- 6. 本学における学び・学生生活について、全体として、どの程度、満足していらっしゃいますか。
  - － 「進路先（自身の就職先・進学先等）」

### 【質問の追加】

- 7. 今後の大学の在り方として、対面授業とオンライン授業の割合について、どのようになるのがよいとお考えですか。（新型コロナウイルス感染症等への組織的対策が必要ない状況を想定してお答えください）
  - － 完全対面がよい
  - － 対面を基本に、一部オンラインがよい
  - － 対面とオンラインの半々ぐらいがよい
  - － オンラインを基本に、一部対面がよい
  - － 完全オンラインがよい
  - － わからない
- 8.でそのように答えた理由を教えてください。また、授業科目の種類（講義、演習、実験、実習、ゼミなど）によって対面がよいもの、オンラインがよいもの等について、ご意見がありましたら、自由にご記入ください。

## 令和4年度調査質問紙の主な改訂（3月調査から反映予定）

### 【項目に説明の追加】

- 1. 学部学生は基幹教育、大学院生は学部の専攻教育を通して、次の知識・能力は、それぞれどの程度身に付いたとお考えでしょうか。  
《追記》学部学生は学部、大学院生は学府における学び・学生生活についてお答えください。
- 2. 専攻教育を通して、～
- 3. 本学における課外活動を通して、～
- 4. その他の活動（ボランティア、アルバイト等）を通して、～
- 6. 本学における学び・学生生活について、全体として、どの程度、満足していらっしゃいますか。
  - 基幹教育（大学院生は学部での専攻教育）
  - 専攻教育（《追記》大学院生は学府での専攻教育）

ステークホルダー調査は、本学での学び・学生生活に対する総合的評価（基礎資料）の一部です。本部・各部局・部署において、それぞれの取組の改善に向けてご参照いただき、お役立てください。

また、調査の質の向上に向けて、引き続きご協力くださいますよう、お願いいたします。調査に関するご意見がございましたら、教育改革推進本部([innovation@ueii.kyushu-u.ac.jp](mailto:innovation@ueii.kyushu-u.ac.jp))にご連絡ください。